

**核物質防護に関する不適合情報**

2023年7月11日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。  
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックをご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niiigata\\_hq/data/pp/pdf/policy.pdf](https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf)

1. 公表区分Ⅰ 0件
2. 公表区分Ⅱ 0件
3. 公表区分Ⅲ 0件
4. 公表区分その他 4件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	非常用発電機用の軽油タンクを格納する設備の屋根部分の腐食を確認したことから、当該腐食箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 なお、軽油タンク本体の破損はないこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡はなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2022/12/17	
2	侵入検知器の付属機器が破損していることを確認したことから、当該機器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、侵入検知機能は維持できていたこと及び現場設備に妨害破壊行為等の痕跡もなく、不審者や不審物もなかったことを確認した。	2022/12/24	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作を繰り返し、その後自然復旧したことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面に異常はなく再現性もなかったことから、一過性の事象と判断した。	2023/2/18	
4	正門において、警備員の連携ミスにより、車両を点検未実施の状態のまま入域レーンへ誘導した。 なお、入域前に入域レーンの別の警備員が点検未実施であることに気づいたことから、入域には至らなかった。 正門を担当する警備員に対して、手順の再周知を行った。	2023/4/18	